

トピックス

- ★ 第1回講義：企業が求める人材とキャリアデザインとは
- ★ 第2回講義：大学院の専攻とその後のキャリア形成
- ★ キャリア面談受付中(H29)

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

東京海洋大学・キャリア開発室
電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

● 第1回 高度専門キャリア形成論

キャリアデザイン講座・第1弾！

平成29年4月13日(木) 16:20~17:50 於 品川キャンパス多目的ルームⅠ

「企業が求める人材とキャリアデザインを考える」

塩谷 和美 特任教授 東京海洋大学キャリア開発室

- ※ 今年の就活は、大手優良企業への志願者が殺到し競争は激しい。事前準備をしっかりと行い、短期決戦の就活で成功を勝ちとってほしい。最初の就職が最も大切。職業選択の間違いは人生で大きな禍根を残す。気を抜かず、志願企業突破を目指し最後までやり切る覚悟が必要だ。
- ※ 就職後の3年間は下積み時代。企業は即戦力を求めている。学卒3年で35%の若者が退職していく。責任ある重要な仕事は入社してすぐには任されない。まずは各現場を回りしっかり仕事を覚えることに専念すべし。いくつかの挫折の体験を通して普遍的な学習を積み重ねていく。



- ※ 企業が求める4つの力と新入社員に求められること
 - ①学習する力 ②思考する力 ③行動する力 ④協働する力の総合力が企業側から求められる。
 『困難な状況下で自分で考え、周囲に働きかけながら視聴し、成果を出す力』が求められるが、最近の新人は苦手とする傾向がある。困難克服経験の不足が共通点だ。今までの体験からそのような経験談をアピールすることは、就活で効果的な自己PRとなる。

企業への強い貢献意欲や自己成長意欲をしっかりと伝えて、他者との差別化や海洋大ならではの売り込みをどう表現するかの解説がありました。

最後に個別面談で、キャリア開発室を活用してもらいたい」と述べて本日の講義が終了しました。



キャリア面談で就職活動をしっかりとサポート

～キャリアコンサルタントとの面談で成果をあげられます！～

・就職活動すべての節目に的確なアドバイスをします。

□キャリア面談希望の方は下記のアドレスへメールでお問い合わせください

career@m.kaiyodai.ac.jp



● 第2回 高度専門キャリア形成論

大学院の専攻とその後のキャリア形成

平成29年5月19日(金) 16:20~17:50 於 品川キャンパス 楽水会館大会議室

「広報で研究を発信」

久松和恵氏 国立研究開発法人 海洋研究開発機構

- ※ 就職氷河期の学部就活を断念し、修士への進路に
充実した院生活であったが、院修了時でもまだ就職氷河期であり、厳しい就活だったが最初の会社は決まった。営業の仕事はきつく、再度研究の現場に戻る決心をして、現在のJAMSTECに応募。任期一般職採用となった。
- ※ すべて初体験の報道、報道や広報の仕事に戸惑う毎日
報道課に配属になり、子供向けにわかりやすい解説のサイトを作ろうと、知識やスキルの無かった自分に発奮し、土日も返上して猛勉強を続けた。広報での仕事は新聞掲載記事を担当し、原稿執筆に必要な数々のスキル習得やイラストレーターも特訓した。それら努力が認められて正職員となれた。
- ※ 仕事のむずかしさとやりがいを感じる毎日と更なる挑戦
JAMSTECの顔である広報・報道の自覚を持って、現在は人に喜んでもらえることを励みとし海洋科学技術の発展に寄与できることを喜びとしている。これからも毎日を大切に、仕事に真摯に取り組むことをモットーとして励み、本を出したいという夢をいつか叶えたい。



学生時代は海洋大でしかできない体験を積んで、先生や友人、先輩後輩とのつながりを大切にしよう。最初の就職（正規雇用の総合職）は重要であり、しっかり準備して就職活動をしてください！

「食べることでつながる未来」

河口友美氏 日本ハム(株)中央研究所 ヘルスサポート課

- ※ 好奇心を現実にしていく行動力を発揮した大学生生活
実習船に乗りたく食品生産学科から生物資源学科に、野球をやりたくになり女子野球部を作った。毎日が充実していた。大学院では、研究生活にシフトして、代理親魚養殖研究に没頭した。研究を仕事にしたいと思った。
- ※ 日本ハム中央研究所勤務にシフト、広島大学後期博士課程へ
会社員としての仕事、大学院生としての研究、社会人ドクターとしての仕事を掛け持ち、人生で最もきつかった博士号取得の広大駐在時代。自分の目指した夢の実現に必至であった日々は、振り返れば懐かしく思える。
- ※ 新しい研究テーマで体育学分野への貢献し未体験の営業職を志願！



鶏肉の筋肉の研究からヒトの筋肉に作用する新しいペプチドを抽出し商品化できた。基礎研究を続けるか自問し、メーカーにいたのだから開発商品の普及に努めたい！と営業部隊へ大きな進路転換をした。開発商品は大学陸上部や日本女子代表ラグビーチームにも評価をいただき採用された。

企業研究者は利益貢献が最優先であり、同時に短時間での成果が求められる。良い仲間恵まれて、研究が続けられる毎日に感謝している。大学時代の経験は将来に役立つ。色んな挑戦をして欲しい！

と述べて、本日の講演が締め括られました。今回の講演会には102名の参加がありました。

- ◆ キャリア開発室は今年度も各種のキャリア開発支援を行ってまいります。
 - ①「高度専門キャリア形成論」講座で能力開発とキャリア自律意識の啓発
 - ②「キャリア面談」で就職活動の総合的な支援
 - ③ 企業や法人へのインターンシップ派遣の助言と支援
- キャリア開発室の活動内容、最新情報、各種パンフレットや申請書等はホームページから入手できます。<http://www.kaiyodaicareer.com/>